

特集

feature articles

# 男と女が手を携えて すべての人がいきいきと

土岐市男女共同参画プラン

男女共同参画社会とは、「男女が対等な立場で、社会のあらゆる分野（家庭、学校、職場、地域など）に共に参画し、責任を分かち合う社会」です。  
こうした社会を目指し、土岐市では「土岐市男女共同参画プラン」を作成しました。





# 今、なぜ男女共同参画か

## 母は強しといわれていますが

「女は弱し、されど母は強し」レ・ミゼラブルで有名なヴィクトル・ユゴーの名言ですが、私たち日本人の生活に定着している性別による固定的役割分担の意識は「男が主、女は従」という男性中心の社会を作り上げ、女性の社会参加の遅れや、雇用・労働条件の不平等、そして特に最近では、DVなど女性に対する暴力による人権の侵害など、女性は依然として弱い立場に置かれています。

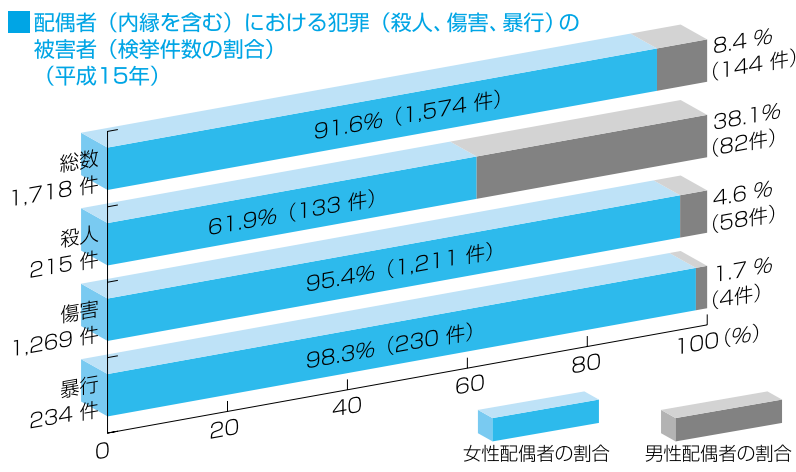
## 女性の五人に一人が被害者

内閣府が実施した「配偶者等からの暴力に関する調査」（平成十四年）では、現在または過去に配偶者や恋人がいる（いた）人のうち、「身体に対する暴行」「恐怖を感じるような脅迫」「性的な行為の強要」のいずれかまたはいくつかをこれまで一度でも受けたことのある人は、女性19・1%、男性9・3%で、女性の約五人に一人が経験していました。

これらの行為によって命の危険を感じた人は、男性が0・7%であるのに対し女性は4・4%で、女性の約二十人に一

人は配偶者などからの暴力によって命の危険さえ感じているのです。

警察庁の統計によると、平成十五年中に検挙した配偶者（内縁関係を含む）間における殺人、傷害、暴行は千七百十八件、そのうち千五百七十四件（91・6%）は女性が被害者となった事件でした。



## コワノトリを呼び戻せ

一・二九人。これは平成十五年の日本の合計特殊出生率（一人の女性が生涯に出産する子どもの数）です。この数値は長期的に人口を維持できる水準の二・〇七よりかなり低く、人口減少、高齢化が問題となっています。出生率低下の原因の一つに、「仕事と子育ての両立の負担感の増大」による「晩婚化の進行・未婚率の上昇」があるといわれており、少子化を食い止めるため、女性に仕事か出産かの二者択一を迫るのではなく、男女が仕事・家庭・育児、地域の活動などを分かち合うことが求められています。

## 母親に偏る育児負担

「第二回二十一世紀出生児縦断調査」の結果から、母親の就業状況別に普段の保育者が誰であるかをみると、「母」は母親が無職の場合は99・6%、母親が就業している場合も86・2%と高くなっています。逆に「父」については、母親が無職の場合で49・7%、有職の場合でも48・9%と、母親の就業状況に関係なく保育への関わり方はいまひとつといったところです。







### 必要なのは家族と社会の支え

市岡 規子さん（泉町）  
夫と9歳・4歳の男の子の4人暮らし。  
高校の教諭を務める。

夫婦共働きですので、上の子が小さかったころは、本当に大変でした。今こそ延長保育をしてくださるところもあるようですが、それでも女性が正職員として働くことは、祖父母が近くにおいて支えてもらわないと無理だろうと思います。夫も遠距離通勤で毎晩九時過ぎにしか帰宅できませんから、家事を分担というわけにもいきません。ただ、日曜日などは夫と子どもたちが食事を作ってくれたり、お互いできるところで助け合っています。

男性の三十代から四十代というのは、子どもたちが遊びたい盛りで、家族にとってもっとも必要な時期なんです。企業にとっても一番戦力となる年代なんです。なかなか休みが取れないっていうのは、子どもも、子ども好きな夫もかわいそうだなと思います。社会全体で若い家族をサポートするような制度や環境が早く整ってほしいと思います。

### 人生さまざまが社会の活力

地方の時代といわれる今、状況の変化に対応し、多様で活力のある地域社会を築き上げることが求められています。

そのための取り組みの中で重要な位置を占めるのが、男女共同参画社会の実現です。自治会活動をはじめ、さまざまな地域活動や、行政運営に女性が積極的に参加することによって、新しい視点、新しい力が生れることが期待されています。地域に住む人々が、男性、女性の区別なく、その個性と能力を十分に発揮できることが、多様な生き方を可能にし、社会の活力を生むのです。



### 男性がいてよかったと思ってもらえれば

いずみ保育園保育士  
田中 英治さん



### 男性、女性両面の良さが出せる職場に

いずみ保育園園長  
山田 優代さん

保育士になって今年で九年目を迎えました。男性の保育士も年々増えてきましたね。はじめは、受け入れる保育園側も扱い方がわからなかったようで、新米なのにコーヒーを入れてもらったりだとかお客さん扱いのようで、お互い戸惑うこともありました。

子どもたちは、遊びたい内容によって自分の周りに来てくれているようで、鬼ごっこや肩車、駆けっこなどをせがまれます。子どもたちや親御さん方に男性の保育士がいてよかったと思ってもらえればうれしいです。

子どもを育てるといことは、お父さん、お母さんの両面があつて自然なので、男性保育士には期待しています。

彼は大きく広く物事に対処できる論理的な心、力強く子どもたちと遊べる体など、親御さんにも、子どもたちにもうれしい存在です。しかし、周りがすべて女性という中で生活していると、知らないうちにもこの見方、考え方が流されてしまつ部分が出る時もあります。

男性、女性両面の良さが出せる職場にしていくことが、私の課題だと思っています。



# 世界と日本の現状

## 豊富な才能 乏しい機会

二〇〇三年に国連開発計画が発表した「人間開発報告書」によると、日本は人間開発指数（HDI）が測定可能な百七十五カ国中九位であったのに対し、ジェンダー・エンパワーメント指数（GEM）は、七十カ国中四十四位と大きく落ち込んでいます。

日本は、人間開発の達成度では実績を上げていますが、女性が政治や経済活動に参画し、活躍する機会が不十分であることが分かります。その一例として、国会議員に占める女性議員の割合について、スウェーデンやデンマークでは約40%がオランダ、ドイツでも30%以上が女性議員であるのに対し、日本はわずか7.1%（平成十六年三月現在・衆議院三十四人）と低い水準にとどまっています。

### 人間開発指数（HDI）

平均寿命、教育水準、成人識字率、1人当たり国民所得などを用いて算出し、基本的な人間の能力の伸びを測るものです。

## ジェンダー・エンパワーメント指数（GEM）

女性が積極的に経済活動や政治活動に参加し、意思決定に参画しているかを測るもので、女性の稼働所得割合、国会議員、管理職、専門職、技術職に占める女性比率を用いて算出します。

■HDI (人間開発指数)

順位	国名	HDI値
1	ノルウェー	0.944
2	アイスランド	0.942
3	スウェーデン	0.941
4	オーストリア	0.939
5	オランダ	0.938
6	ベルギー	0.937
7	米国	0.937
8	カナダ	0.937
9	日本	0.932
10	スイス	0.932

■GEM (ジェンダー・エンパワーメント指数)

順位	国名	GEM値
1	アイスランド	0.847
2	ノルウェー	0.837
3	スウェーデン	0.831
4	デンマーク	0.825
5	フィンランド	0.801
6	オランダ	0.794
7	オーストリア	0.782
43	ウルグアイ	0.516
44	日本	0.515

## 女性の輝きが未来を照らす

国連の定義では、六十五歳以上の老年人口が7%を超える社会を「高齢化社会」、14%を超えると「高齢社会」といいます。日本は既に平成六年から高齢社会に入っており、二〇一〇年代には国民の四人に一人、二〇五〇年ころには、三人に一人が高齢者という「超高齢社会」になると推測されています。

こうした社会を支えるためには、女性の力が不可欠です。前述のGEMに加え、女性の就業率についてみても、デンマークやノルウェーが70%を超えているのに対して、日本はまだその水準に達していません。

しかしGEMや就業率が低いということは、言い換えれば日本にはまだ多くの人的資源が眠っていることとなります。

女性が積極的に政治・経済などの社会活動全般で活躍することで、会社組織や地域社会、ひいては国全体に新しい活力や新たな良さといったものが生れてくるのではないのでしょうか。